



ALINCO Now

アルインコ株式会社  
2024年3月期第3四半期  
決算補足説明資料  
2024年2月

証券コード: 5933 東証プライム  
<https://www.alinco.co.jp/>

# 2024年3月期第3四半期 連結業績



- ✓ 仮設機材レンタル会社の購買意欲に衰えは見られないが、工事の着工遅延解消が想定以上に長引き足場材購入ニーズが盛り上がり、購買に代えて、レンタルニーズは引き続き堅調で、販売とレンタルが連携して補完するかたちで売上高は堅調に推移した
- ✓ 利益面では、期初からの円安環境継続や原材料価格の高止まりなどコスト上昇圧力が継続したが、前連結会計年度に実施した販売価格の改定が寄与して、営業利益は前年同期比1.0%増となった。経常利益は為替予約によるヘッジ効果や外貨建資産の評価による為替差益が減少し、前年同期比11.9%減となった
- ✓ 通期予想に対する進捗率は、75%（4分の3四半期）に比して売上高はやや遅れているが、利益面では順調に推移

（単位：百万円）

	2022.3月期 3Q	2023.3月期 3Q	2024.3月期 3Q		2024.3月期 通期	
	実績 (売上比)	実績 (売上比)	実績 (売上比)	前年同期比 増減額 (増減率)	予想 (売上比)	3Q進捗率
売上高	41,025 (100.0%)	46,691 (100.0%)	<b>44,692</b> <b>(100.0%)</b>	△1,999 (△4.3%)	62,400 (100%)	71.6%
営業利益	1,267 (3.1%)	1,897 (4.1%)	<b>1,916</b> <b>(4.3%)</b>	+18 (+1.0%)	2,500 (4.0%)	76.7%
経常利益	955 (2.3%)	3,171 (6.8%)	<b>2,793</b> <b>(6.3%)</b>	△378 (△11.9%)	2,700 (4.3%)	103.5%
親会社に帰属する四半期純利益	406 (1.0%)	1,322 (2.8%)	<b>1,916</b> <b>(4.3%)</b>	+594 (+44.9%)	1,700 (2.7%)	112.8%

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 2024年3月期第3四半期 セグメント情報



- ✓ 建設機材セグメントは、仮設機材レンタル会社の購入時期が後ずれしているため仮設機材関連の売上高が前年同期比10.5%減。物流関連でも前年同期に寄与した大型物件が当期はなく売上高が20.7%減少した。仮設機材の購買後ずれによるレンタルニーズの拡大によって、引き続きレンタル資産の稼働率は高水準継続。第2四半期以降は減価償却負担が増加したものの、海外レンタル子会社の連結子会社化も業績に寄与し、レンタルセグメントの業績は引き続き連結業績全体の下支えとなった
- ✓ その他のセグメントでは、フィットネス関連製品の利益率が改善したものの、為替予約のヘッジ効果減少を補うことができなかった。また、電子機器セグメントでは子会社のアルインコ富山における設備稼働の低下が業績制約要因となった

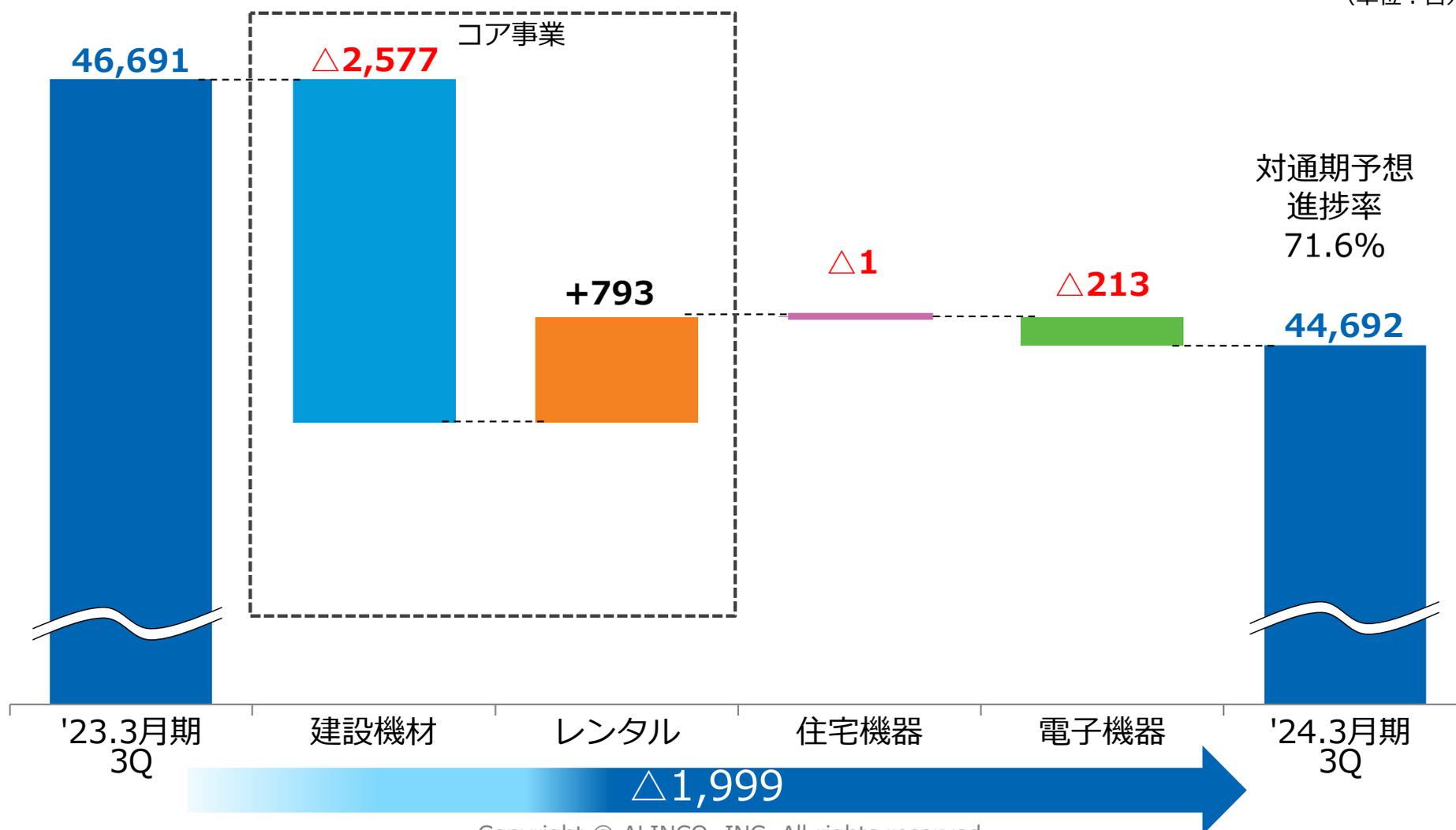
(単位：百万円)

上段：売上高 下段：セグメント利益	2022.3月期 3Q	2023.3月期 3Q	2024.3月期 3Q		2024.3月期 通期	
	実績	実績	実績	前年同期比 増減率	予想	3Q進捗率
建設機材関連	14,647 1,212	19,020 2,298	<b>16,442</b> <b>1,985</b>	△13.6% △13.6%	24,800 2,400	66.3% 82.7%
レンタル関連	12,018 255	12,749 362	<b>13,543</b> <b>589</b>	+6.2% +62.6%	17,200 210	78.7% 280.8%
住宅機器関連	11,337 △84	10,763 △87	<b>10,761</b> <b>△193</b>	△0.0% -	14,500 △120	74.2% -
電子機器関連	3,021 68	4,158 235	<b>3,944</b> <b>△20</b>	△5.1% -	5,900 130	66.9% -
調整	- △496	- 362	<b>-</b> <b>433</b>	- -	- 80	- -
全社合計	41,025 955	46,691 3,171	<b>44,692</b> <b>2,793</b>	△4.3% △11.9%	62,400 2,700	71.6% 103.5%

# 2024年3月期第3四半期 売上高セグメント別増減要因

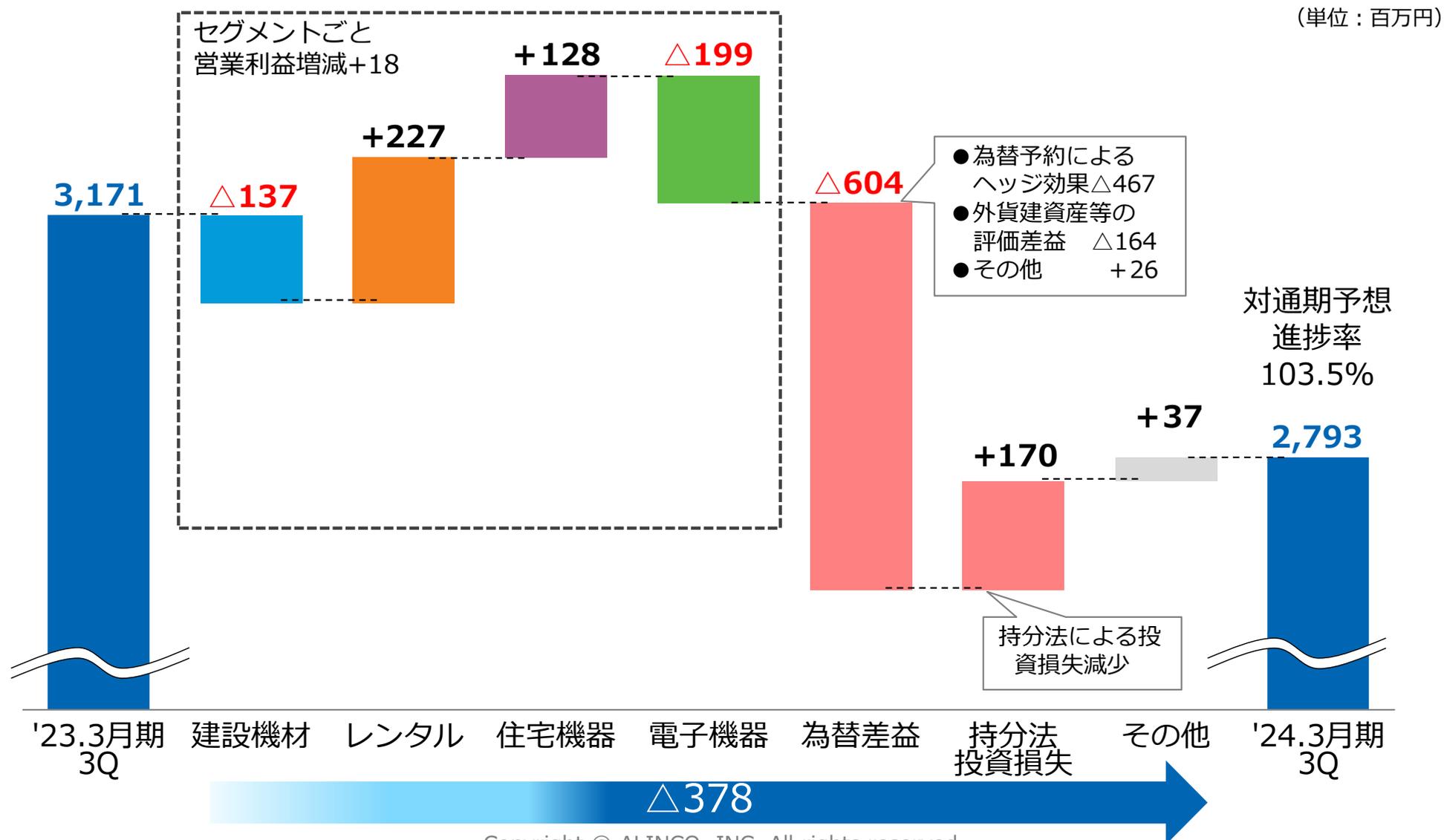
- ✓ 売上高は前年同期比19億99百万円減の446億92百万円となった
- ✓ 建設機材セグメントは仮設機材販売が前年同期比13.9億円減、物流倉庫向けラックなどの販売が同11.8億円減
- ✓ レンタルセグメントは仮設機材の購買ニーズがレンタルに移ったこと、海外レンタル子会社の復調が寄与
- ✓ その他のセグメントは、フィットネス関連製品売上高の進捗が遅れており、電子機器セグメントはアルインコ富山の対外売上が減少

(単位：百万円)



# 2024年3月期第3四半期 経常利益増減要因

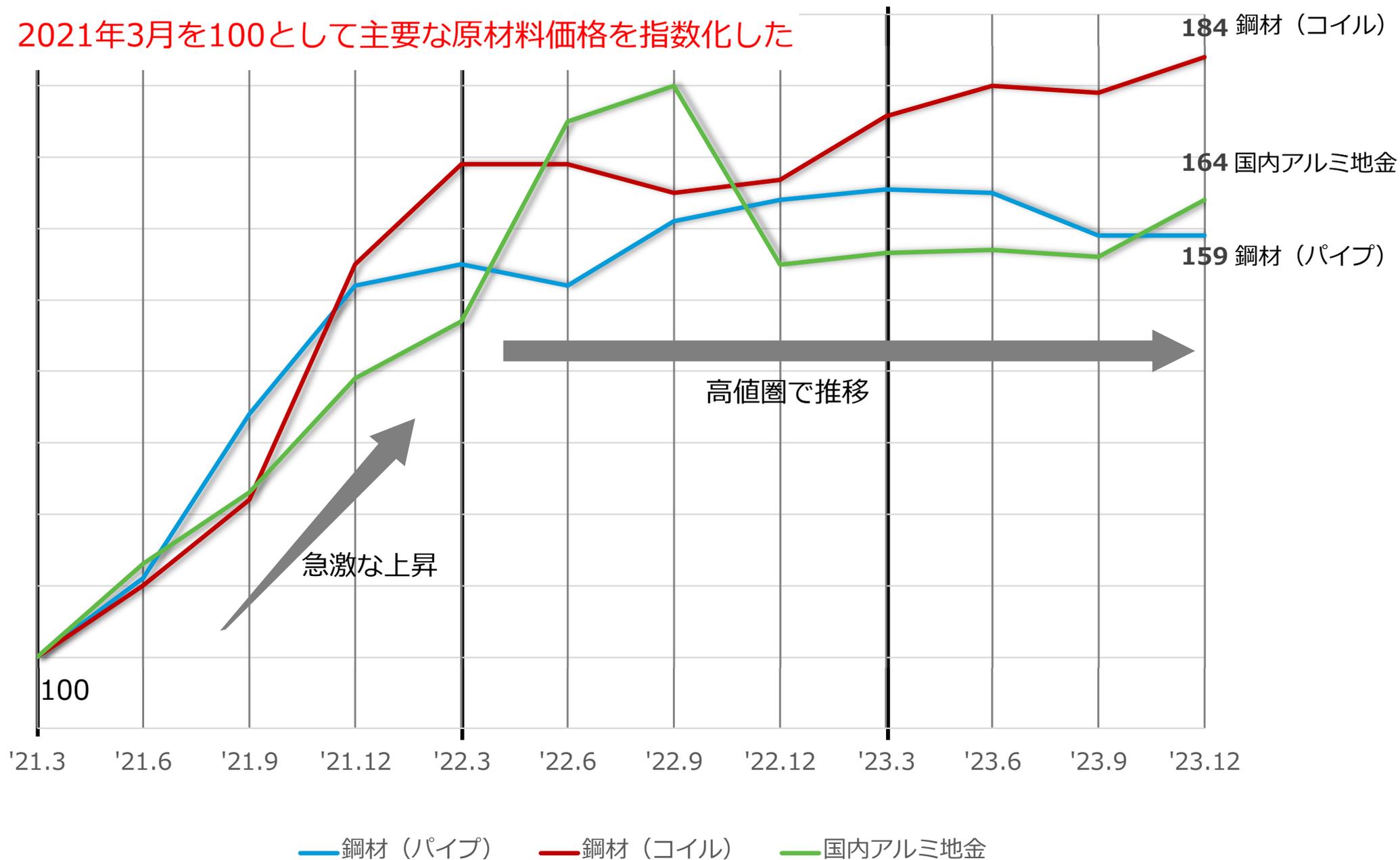
- ✓ 営業利益は、レンタルセグメントの牽引や住宅機器セグメントの利益改善で前年同期実績並みとなった
- ✓ 経常利益は、前年同期に比べて為替ヘッジによる為替差益が減少。前連結会計年度にインドネシアの持分法適用関連会社を連結子会社化したことで持分法投資損失が減少
- ✓ 経常利益は前年同期比378百万円減の27億93百万円となった



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">建設機材関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 建築工事着工の後ずれが影響して、新型足場「アルバトロス」の購入を検討している顧客が、購買時期を先送りしてレンタルで対応する動きは解消せず</li> <li>✓ 「アルバトロス」関連製品は前年同期比で減少したものの、屋内配管や電気などの作業ニーズ増加を見越したアルミ製作業台の販売は好調継続</li> <li>✓ 物流倉庫向けのラック販売では、前2Q以降の業績に寄与した大型受注案件がなく売上高が減少</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">住宅機器関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ アルミ製昇降器具などの製品は、展示会開催の本格回復や、2023年10月からのトラック昇降設備義務の適用範囲拡大で特殊はしごの需要が増加。半導体工場向けに高所作業台の販売も増加し、セグメント売上を牽引</li> <li>✓ フィットネス関連製品は、前期に準備を進めた“値ごろ感”を出した新製品を積極投入。売上高は前年同期並みを維持したが、諸物価上昇の影響から高価格帯品の販売が伸びず業績の進捗は想定を下回っている</li> <li>✓ 販売価格改定は寄与しているが、円安によるコスト上昇圧力が一層強くなっている</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">レンタル関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 仮設機材レンタル会社が機材購入に代えてレンタルで対応する動きが継続し、中高層用レンタルの稼働率が高水準で推移</li> <li>✓ 受注機会の増加に応じて期初からレンタル資産の投資を積極化したが、減価償却負担も漸増した</li> <li>✓ 低層用レンタルもコロナ禍で停滞していた海外実習生の導入が回復し、施工体制が安定したことから、業績は堅調に推移</li> <li>✓ インドネシアの海外子会社は資源プラントの工事が活況化して売上高が増加</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電子機器関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 上級ユーザーから支持された新型デジタル受信機の販売好調や、デジタル簡易無線局の帯域拡張（周波数の増波）に対応した製品販売によって、無線機などの販売は堅調に推移</li> <li>✓ 子会社のアルインコ富山における売上高減少がセグメント業績を下押し。対外受注先の生産調整の影響を受け、基板実装設備の稼働率が低下し採算が低下</li> <li>✓ 東電子工業の新工場は11月に竣工。2024年初年から新ラインが稼働</li> </ul>

# 主要な原材料価格の実勢推移

2021年3月を100として主要な原材料価格を指数化した





## 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、為替予約によるヘッジ効果や外貨建資産の評価替えによる為替差益などの発生によって、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が2023年5月2日に公表した通期連結業績予想における各数値を上回る結果となりました。

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、今後の市場動向及び業績動向を現在精査中であるため、2023年5月2日に公表した当初の予想を据え置くことといたします。修正が必要と判断した場合は速やかに公表することといたします。

※ 2024年2月2日公表「2024年3月期 第3四半期決算短信」から抜粋転載

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競業状況等、多くの不確実な要因による影響を受けます。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【お問い合わせ先】

アルインコ株式会社・経理部

大阪府中央区高麗橋4-4-9淀屋橋ダイビル

Tel:06-7636-2220・Fax:06-6208-3701